

# 飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年  
学年通信 第7号  
2020年 5月22日(金)  
文責 太田 雄司

## 心機一転！ リスタート！！



国からの緊急事態宣言の解除を受けて、休校期間が1週間短縮され、来週月曜日の5月25日から学校が再開されることとなりました。3月からここまでの約3か月。仕方がないこととは言え、生活の様々なことに制約がかかり、先のことにも見通しがもてず、とても苦しい日々が続いたと思います。しかし、来週からはようやく通常の学校生活となります。心機一転、気持ちを新たに月曜日からリスタートです。来年の3月、中学校生活最大の目標である「進路実現」「感動の卒業式」という大輪の花を咲かせられるように、今日の前にあることに全力で取り組みながら、一日一日をしっかりと積み重ねていくことを期待します。



### 下を向いていたら 虹を見つけることはできない チャールズ・チャプリン



生きていく上で自分の力ではどうにもならない不可抗力と向き合わなければならないときがあります。諦めなければならないこともあります。新型コロナウイルス感染拡大防止のために休校となった3か月は、まさにそんなときだと言えるのではないのでしょうか。だからこそ、前を向いたときに虹を見つけられるように、中学校生活の様々な場面において明確な目標を立てその達成のために全力で取り組んでいくことが大切になってきます。

### 未来は自分で変えられる 前向けば道は開く 柔道男子日本代表 井上康生監督

全国高校総体の中止を受けて、運動部活動に所属している高校生に対して、井上康生監督が次のようなことを言っていました。「自分で変えられることと、変えられないことがあります。高校総体の中止は変えられない。しかしその先の未来は、自分で変えられます。悲しみにくれて過ごすか、情熱をもって新しいチャレンジをしてみるか。何でもいいから目標を決めて毎日を過ごしてみる。前を向くことで、道は切り開かれていくと思います。」



### 苦しまなければ 喜びはない プロサッカー選手 三浦知良選手

「試合でいいプレーをするためには、何かで苦しまなければ楽しみは得られない。物事いい加減にやったら全然楽しくないし、何でも真剣にやるから楽しい。」

### プロフェッショナルとは・・・ プロサッカー選手 三浦知良選手

「何か一つというと、とても難しいのですが、僕が思うのは、やはりどんな状況になっても全力を出し切る、出せる人じゃないかなというふうに思います。」



53歳になってもなお、プロサッカー選手として活躍するキングカズこと三浦知良選手。その三浦選手の2つの言葉からは、どんなことにも全力で取り組むことの大切さがひしひしと伝わってきます。「全力でやるからこそ苦しい思いをすることも。それでも全力でやり切るから楽しい思いをすることができる。そして、どんなことにもどんなときでも全力を出し切れる人こそ、何かを究めることができる。」のではないのでしょうか。

3年生のスタートの2か月を棒に振ってしまったとは言え、最上級生・受検生であることに変わりはありません。2・3月に高校入試が行われることや3月18日が卒業式であることは決まっています。勝負の時は待って欲しくないのです。約3か月の休校という苦しい時間を送ったとしても、現状に言い訳することなく、残りの10か月で中学校生活最大の目標を達成するために全力で取り組む日々を積み重ねていかなければなりません。そんな境遇の生徒たちに上の4つの言葉が参考になるのではと思います、紹介させていただきました。